

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 東洋テック株式会社

コード番号 9686 URL <http://toyo-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新井 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 武川 隆彦

TEL 06-6563-2111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,299	8.8	199	165.0	247	102.0	△5	—
21年3月期第1四半期	3,950	—	75	—	122	—	57	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	△0.52	—
21年3月期第1四半期	5.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	19,640	16,510	84.1	1,572.37
21年3月期	19,845	16,389	82.6	1,560.92

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 16,510百万円 21年3月期 16,389百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	8,780	10.3	350	88.2	420	66.0	130	7.4	12.38
連結累計期間	17,900	10.5	710	8.6	820	5.5	330	△14.3	31.42

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため注記を省略しております。
また、四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理については、該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 有 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 11,440,000株 | 21年3月期 | 11,440,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 939,972株 | 21年3月期 | 939,942株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 10,500,028株 | 21年3月期第1四半期 | 10,500,338株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直しの動きがあるものの、生産活動の停滞や雇用情勢の悪化など実体経済面では依然として厳しい状況が続いております。

当警備業界においても、同業他社との受注競争の激化による警備料の値下げ等があり、一方で警備品質向上のためのコストアップ要因等を抱え、収益面では引続き厳しい状況の中で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、機械警備、ホームセキュリティの拡販並びにビル総合管理業務の受注拡大を目指し業容の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期における業績は次のとおりとなりました。

売上高は、機械警備やビル管理業務が堅調に推移したことから4,299百万円（前年同四半期比348百万円、8.8%増）となりました。

営業利益は、体制整備に係る各種経費削減効果が奏功したことから199百万円（前年同四半期比124百万円、165.0%増）となり、経常利益は、247百万円（前年同四半期比124百万円、102.0%増）となりましたが、投資有価証券評価損130百万円を計上し、加えて法人税等が99百万円になったことから当第1四半期は5百万円の純損失となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（警備事業）

警備事業につきましては、機械警備業務や施設警備業務は堅調に推移しましたが、受託管理業務ではノンバンクや企業内CD機の管理業務の解約の影響が引続きあり、また、工事・機器販売も低調に推移しました。

その結果、警備事業の当第1四半期の売上高は、3,215百万円（前年同四半期比18百万円減）となりました。

（ビル管理事業）

ビル管理事業につきましては、グループの特長を活かした警備とビルメンテナンスを一元管理できるシステムの提案型営業を推し進め、加えて前連結会計年度末に子会社化した株式会社フジサービスの効果もありました。

その結果、ビル管理事業の当第1四半期の売上高は、1,083百万円（前年同四半期比367百万円増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結貸借対照表の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は19,640百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が短期借入金や賞与及び配当金の支払等により461百万円減少したことによるものです。

純資産は16,510百万円となり、前連結会計年度末比120百万円の増加となりました。自己資本比率は84.1%となり、前連結会計年度末比1.5ポイント上昇しました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、229百万円の資金増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が93百万円になったほか、減価償却費194百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、107百万円の資金増加となりました。これは、有形・無形の固定資産取得223百万円や投資有価証券の取得145百万円の資金支出があった一方、定期預金の引出82百万円や投資有価証券の売却による収入393百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済140百万円や配当金の支払い105百万円等により245百万円の資金支出となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、5,077百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月8日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成21年7月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
表示方法の変更
(四半期連結損益計算書)

前第1四半期連結会計期間において営業外費用の「その他」に含めておりました「事務所移転費用」は営業外費用の100分の20を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記いたしました。なお、前第1四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「事務所移転費用」は201千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,931,297	4,392,370
受託現預金	3,481,113	3,504,491
受取手形及び売掛金	1,265,221	1,343,791
有価証券	1,473,709	999,729
商品	2,404	1,280
貯蔵品	361,790	364,180
立替金	23,115	20,577
繰延税金資産	161,334	218,561
その他	163,456	556,749
貸倒引当金	△21,510	△20,029
流動資産合計	10,841,931	11,381,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	654,326	665,793
機械装置及び運搬具（純額）	2,331,731	2,376,051
土地	1,334,091	1,334,091
建設仮勘定	41,149	26,221
その他（純額）	99,142	106,726
有形固定資産合計	4,460,441	4,508,884
無形固定資産		
のれん	310,260	318,215
その他	316,905	325,249
無形固定資産合計	627,166	643,465
投資その他の資産		
投資有価証券	3,175,883	2,773,485
繰延税金資産	34,298	38,597
その他	519,496	518,861
貸倒引当金	△18,962	△19,771
投資その他の資産合計	3,710,717	3,311,173
固定資産合計	8,798,325	8,463,523
資産合計	19,640,256	19,845,225

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,417	268,137
短期借入金	—	140,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	23,855	76,328
預り金	342,290	294,982
賞与引当金	180,662	359,869
役員賞与引当金	8,800	28,420
その他	1,148,864	1,143,837
流動負債合計	1,982,891	2,411,575
固定負債		
社債	100,000	100,000
繰延税金負債	630,214	444,962
退職給付引当金	146,103	149,320
その他	271,027	349,582
固定負債合計	1,147,344	1,043,865
負債合計	3,130,235	3,455,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,618,000	4,618,000
資本剰余金	8,310,580	8,310,580
利益剰余金	7,182,114	7,292,619
自己株式	△580,688	△580,663
株主資本合計	19,530,006	19,640,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	466,617	235,851
土地再評価差額金	△3,486,602	△3,486,602
評価・換算差額等合計	△3,019,985	△3,250,750
純資産合計	16,510,021	16,389,785
負債純資産合計	19,640,256	19,845,225

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,950,721	4,299,099
売上原価	3,034,910	3,266,447
売上総利益	915,811	1,032,651
販売費及び一般管理費	840,440	832,917
営業利益	75,370	199,733
営業外収益		
受取利息	4,596	3,962
受取配当金	35,302	29,416
違約金収入	9,494	14,225
その他	4,521	5,024
営業外収益合計	53,914	52,628
営業外費用		
支払利息	687	805
事務所移転費用	—	2,095
保険免責額	1,000	1,927
損害賠償金	4,239	—
その他	979	358
営業外費用合計	6,906	5,187
経常利益	122,378	247,175
特別利益		
投資有価証券売却益	134	—
特別利益合計	134	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	130,631
固定資産除却損	22,920	19,858
その他	—	3,033
特別損失合計	22,920	153,524
税金等調整前四半期純利益	99,593	93,651
法人税、住民税及び事業税	9,115	10,106
法人税等調整額	32,999	89,049
法人税等合計	42,114	99,155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57,479	△5,504

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,593	93,651
減価償却費	199,101	194,497
のれん償却額	—	7,955
固定資産除却損	22,920	19,858
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,230	671
退職給付引当金の増減額 (△は減少) / 前払年金 費用の増減額 (△は増加)	△20,982	4,595
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△154,427	△179,206
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,307	△19,620
受取利息及び受取配当金	△39,899	△33,378
支払利息	687	805
投資有価証券売却損益 (△は益)	△134	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	130,631
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,223	78,569
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△38,639	1,266
その他の資産の増減額 (△は増加)	△47,914	△48,241
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,985	△89,719
受託現預金の増減額 (△は増加)	271,822	1,768
受託立替金の増減額 (△は増加)	28,178	△1,778
その他	149,138	48,665
小計	404,156	210,991
利息及び配当金の受取額	40,280	32,786
利息の支払額	△45	△197
法人税等の支払額	△158,221	△50,579
法人税等の還付額	—	36,209
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,170	229,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△20,000	82,184
有形固定資産の取得による支出	△302,634	△147,989
無形固定資産の取得による支出	△68,294	△75,684
投資有価証券の取得による支出	△1,047	△145,581
投資有価証券の売却による収入	135	393,805
その他	386	328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△391,454	107,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	△140,000
自己株式の取得による支出	△93	△24
配当金の支払額	△78,753	△105,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△378,846	△245,025
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△484,130	91,250
現金及び現金同等物の期首残高	4,358,359	4,986,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,874,229	5,077,764

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以 上